



太田哲也  
公明党市議員

空家等の対策について

**問** 法改正により新たな枠組みとして追加された、管理不全空家の対応と周知方法を伺う。

**答** 現在、国が見直しを行っているガイドラインの内容を踏まえ、市でも管理指針を策定・運用予定である。今後、広報やホームページ等で周知をしていきたい。

**問** 空家の管理について公的なサービスの展開が必要ではないか。

**答** 令和5年10月より、空家等対策協力事業者情報登録制度の運用を開始しており、空家の管理サービスを行う事業者の登録や紹介を行っている。市が直接行うサービスの展開は現時点で考えていない。

相続登記の義務化について

**問** 6年4月1日から義務化される相続登記申請をどのように周知しているか。

**答** 死亡届の手續の際に、「おくやみハンドブック」と一緒にチラシを遺族へ配布している。また、5年2月には広報へ関連記事を掲載した。

**問** 法務局や関係団体との協力体制を伺う。

**答** よろず相談、司法書士による登記相談、弁護士による法律相談を定期的に実施しているほか、毎年10月に「法の日無料相談会」などを予約制で実施している。今後も各関係団体との連携を進めていきたい。



尾崎広道  
自由クラブ

風疹の抗体検査について

**問** 昭和37年4月2日から54年4月1日生まれの男性を、公費で風疹の抗体検査が受けられる対象とした理由は。

**答** この年代の男性の抗体保有率は79・6%であり、それ以前に生まれた男性の抗体保有率92・6%と比べ低い状況となっているため。

墓地について

**問** 市内の旧慣墓地は子など継承者がいない場合でも使用できるか。

**答** 荒れ果て、墓地管理料も納入されず、管理に支障をきたすため、各墓地の運営によるが、長期間放置される場合は無縁墳墓として改葬、撤去も考えられる。

**問** 寺社や旧慣墓地に仏教徒や神道以外の墓

の設置は可能か、その情報を調べる方法は。

**答** 市では具体的に把握していないため、宗教学者や地域の墓地管理者に直接問い合わせるよう案内している。

福祉避難所について

**問** 下着等の着せ替えを必要とする人々への対応は。

**答** 一定の配慮は必要と考え、令和4年度からワンタッチパーテーションの配備を順次進めている。

**問** ついで等資材を保管する倉庫はあるか。

**答** 保管場所の問題は特に聞いていないが、問題があれば話を伺う。



八田寿人  
自民党市議員

再生医療について

**問** 再生医療産業化推進委員会の今後の活動予定について伺う。

**答** 今年度は「未来の医療とまちをつくる」蒲郡での挑戦と今後の展望」をテーマに、再生医療市民講座を開催する。生徒派遣事業として、令和6年3月に開催の日本再生医療学会総会に、市内の海陽学園の生徒が参加する。学会では、全国から選抜された中高生が再生医療に関するテーマで発表するプログラムであり、書類審査を通過した6チームの中に、海陽学園から2チームが選ばれている。

**問** 市民病院の再生医療の実績について伺う。

**答** 臨床研究で行っている尋常性白斑の治療として、2年度から2

症例の実績、12月には3症例目の培養表皮移植が予定されている。表皮水疱症の治療として、2年度から5年11月までに、2人の方に合計12回、培養表皮の移植を行った。

**問** 再生医療を担う企業の誘致及び集積について伺う。

**答** 再生医療のまち蒲郡を広くPRし、市民病院での再生医療に関する取組や、再生医療等製品を開発する市内企業の存在など、本市の持つ強みを活かし、将来的なヘルスケア産業のクラスター形成の推進に向け、関係機関と連携しつつ事業実施を図っていく。

